

2026年8月5日
株式会社SVPジャパン

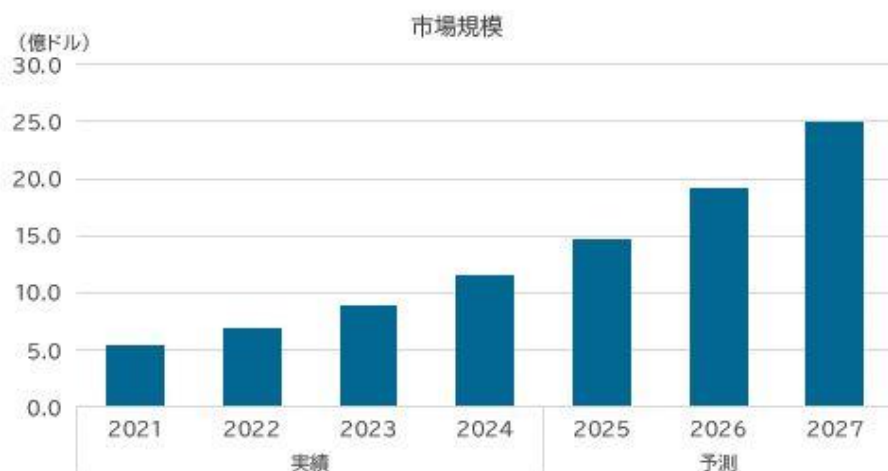
SVP注目市場分析 「全固体電池」を公開

～商業化へ動き出す次世代電池市場の成長戦略～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「全固体電池-世界市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

■ 全固体電池の世界市場



全固体電池は、正極と負極の間に液体電解液ではなく、硫化物系・酸化物系・高分子系などの固体電解質を用いる次世代二次電池である。高い安全性と高エネルギー密度、急速充電、長寿命化の両立が期待され、ポスト・リチウムイオン電池の有力候補として開発が進む。2024年の世界市場は11.5億ドルと推定され、研究開発・実証から商業化初期へ移行しつつある。今後は、電動車需要の拡大、各国の産業政策、世界各地での主要企業の量産投資、固体電解質の供給体制整備を背景に成長が加速する見通しだ。なかでも、高性能化への要求が強い車載分野は有望であり、量産技術やコスト、材料調達力を含む競争力の確立が、本格的な市場獲得の成否を左右するとみられる。

■全固体電池の市場概況

全固体電池市場では、大手電池メーカーが量産技術の確立と生産体制の整備を進める一方、専業スタートアップが独自技術を武器に自動車メーカーとの連携を深めている。日本企業はセル開発に加え、固体電解質や電極材料、製造装置などの周辺領域でも存在感を示し、材料企業・セルメーカー・OEMによる共同開発が活発化している。競争の焦点は、技術性能の実証から商業化を支える事業基盤の構築へ移りつつあるが、本格普及には技術・製造・制度面で課題が残る。日本市場では政府支援やNEDOの共通基盤整備を背景に、完成車・電池・材料各社がパイロット生産と量産準備を進めており、研究開発で培った優位性を世界市場の事業化競争力へ転換できるかが焦点となる。市場は技術開発から商業化競争への転換期を迎えている。



■本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造
- VII. 課題
- VIII. 日本市場の動向



←レポート全編を見る クリック

※本サービスのご利用は、
SVP会員様限定でございます。

■購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求

お問い合わせ



■ 次回のテーマ

9月のテーマは「ペロブスカイト太陽電池」と「核融合」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール…毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

[会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン
代表取締役 : 橋本 雅
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日 : 1974年7月1日
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス
URL : <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課
info@svpjapan.com